

第 141 回サイエンス・カフェ札幌

「エッグい経済学～食卓にかけるみんなの思い～」を開催

【概要】

私たちの食卓に欠かせない食材のたまご。そのたまごの値段はどのように決まっているのか、想像してみましょう。2 年前に北海道で起きたエッグショックでは、たまごの値段が高騰し、手に入れるのが大変な状況をみなさんも体験されたと思います。

【趣旨】

◎畜産におけるアニマルウェルフェアについて、農業経済学からたまごを軸に話し合う

実は、食材によって値段の決め方は変わります。市場の需要と生産側の供給の間で、市場のニーズに合わせて決めるものもあれば、生産側が値段を決めて提示する場合があります。ただその仕組みはそう簡単ではありません。健康志向やアニマルウェルフェアへの関心が高まっている今、消費者も選択の多様性を求め、少し高くても価値のある食材を選びたいという声も聞こえてきます。一方生産側は市場のニーズに応え、コストをかけて家畜のアニマルウェルフェアを考慮した食材を生産する動きがあります。生産にかかるコストを消費者にだけ委ねるのではなく、政府や流通チェーン、生産者がどのように分担するかによって、変化が起きます。食材を選ぶ基準が、多様化しているのです。

◎ワークショップ形式で進行

今回のサイエンス・カフェ札幌では、農業経済学が専門の農学研究院 清水池義治准教授をお招きし、たまごの値段の裏側にある仕組みの話をしていただきます。また本カフェでは、参加者同士で畜産におけるアニマルウェルフェアや値段の決め方について話し合うワークショップを行います。たまごの値段に対する見方がより鮮明になり、自分の選択について考えるきっかけになるとと思います。エッグい農業経済学を切り口に、明日の食卓にかけるみなさんの思いを語り合いましょう。

【タイトル】 第 141 回サイエンス・カフェ札幌「エッグい経済学～食卓にかけるみんなの思い～」

【日 程】 2025 年 6 月 22 日（日）15:00～16:30（開場／受付 14:30）

【場 所】 紀伊國屋書店札幌本店 1F インナーガーデン（sapporo55 1F）

【話 者】 ゲスト：清水池義治（北海道大学大学院農学研究院 准教授）
聞き手：朴 炫貞（北海道大学 CoSTEP 特任講師）

【主 催】 北海道大学大学院教育推進機構 オープンエデュケーションセンター
科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

【協 力】 北海道大学 COI-NEXT

【対 象】 一般市民

- 【募集人数】** 先着 50 名
- 【開催形式】** 対面開催（オンライン配信なし）
- 【参加費】** 無料
- 【言語】** 日本語（同時通訳なし）
- 【申込方法】** 事前申込不要です。当日直接会場にお越しください。
イベントの詳細については、以下ページをご参照ください。
<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/33458>

お問い合わせ先

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター

科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP） 担当：朴 炫貞（パク ヒョンジョン）

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320

メール park@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

第141回 サイエンス・カフェ札幌

事前申込不要 — 入場無料 — 定員50名

エツグい経済学

食卓にかけるみんなの思い

ゲスト

清水池 義治 さん

北海道大学大学院 農学研究院 准教授

聞き手

朴 炫貞

北海道大学 CoSTEP 特任講師

2025 **6.22** 日 15:00-16:30 14:30 開場

紀伊國屋書店札幌本店 1F インナーガーデン

主催 北海道大学 CoSTEP | 協力 北海道大学 COI-NEXT

 Science
Caf@
Sapporo

150th
THE UNIVERSITY OF MICHIGAN LIBRARY

 COI-NEXT

私たちの食卓に欠かせない食材のたまご。そのたまごの値段はどのように決まっているのか、想像してみましょう。2年前に北海道で起きたエッグショックでは、たまごの値段が高騰し、手に入れるのが大変な状況をみなさんも体験されたと思います。

実は、食材によって値段の決め方は変わります。市場の需要と生産側の供給の間で、市場のニーズに合わせて決めるものもあれば、生産側が値段を決めて提示する場合があります。ただその仕組みはそう簡単ではありません。健康志向やアニマルウェルフェアへの関心が高まっている今、消費者も選択の多様性を求め、少し高くても価値のある食材を選びたいという声も聞こえてきます。一方生産側は市場のニーズに応え、コストをかけて家畜のアニマルウェルフェアを考慮した食材を生産する動きがあります。生産にかかるコストを消費者にだけ委ねるのではなく、政府や流通チェーン、生産者がどのように分担するかによって、変化が起きます。食材を選ぶ基準が、多様化しているのです。

今回のサイエンス・カフェ札幌では、農業経済学が専門の清水池義治さんをお招きし、たまごの値段の裏側にある仕組みの話をさせていただきます。また本カフェでは、参加者同士で畜産におけるアニマルウェルフェアや値段の決め方について話し合うワークショップを行います。たまごの値段に対する見方がより鮮明になり、自分の選択について考えるきっかけになると思います。エッグい農業経済学を切り口に、明日の食卓にかけるみなさんの思いを語り合しましょう。

ゲスト

しみずいけ よしはる

清水池 義治 さん



北海道大学大学院 農学研究院 基盤研究部門
農業経済学分野 食料農業市場学研究室 准教授。
1979年生まれ、広島県出身。2009年北大大学院博士課程修了、博士（農学）。06年雪印乳業酪農総合研究所定時社員、09年名寄市立大学保健福祉学部講師、15年同学部准教授、16年北大大学院農学研究院農業経済学分野講師を経て、21年10月から現職。専門は農業経済学、食料農業社会学。研究テーマは生乳流通の国際比較、農産物・食品認証など。趣味は将棋。



詳細はこちら→

次回予告 > 第142回サイエンス・カフェ札幌

捨てなきゃいけない捨てられないモノ
高校生が話し合う放射性廃棄物の処理問題

8/3 ⑤ 14:30~16:00 | 要申込、定員40名
北海道大学オープンイノベーションハブ
エンレイソウ

ゲスト 渡邊 直子さん 北海道大学大学院 工学研究院 教授

北海道大学 大学院教育推進機構
科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP・コーステップ)
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学 高等教育推進機構 N163A 室
costep_office@ml.hokudai.ac.jp / tel&fax 011-706-5320
CoSTEPは科学技術の専門家と市民の橋渡しをする
人材を育てる教育研究組織です。